

対象校No.

注4

学校コード F121310106089

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**認可**

注2

岐阜医療科学大学

薬学部

薬学科

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人神野学園  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部庶務課

職名・氏名 シュニン ハラ リサ  
主任・原 理沙

電話番号 0574-65-6555

(夜間) 0574-65-6555

e-mail gumsjc@u-gifu-ms.ac.jp

# 目次

## 薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人神野学園

## (2) 大学名

岐阜医療科学大学

## (3) 調査対象大学等の位置

(薬学部：可児キャンパス)

〒509-0293

岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3

(大学本部：関キャンパス)

〒501-3892

岐阜県関市市平賀字長峰795-1

(法人本部の位置)

〒461-0001

愛知県名古屋市東区泉1丁目23番37号

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマダ ヒロユキ) 山田 弘幸 (平成26年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマカ カズキ) 山岡 一清 (令和元年4月1日)		
学部長	(ナガセ ヒサミツ) 永瀬 久光 (令和2年4月1日)		
学科長等	(ウノ ブンジ) 宇野 文二 (令和2年4月1日)		

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学部 薬学科 学士(薬学)	薬学関係	6年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	600人		

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 - (-) [-]	人 100 (-) [-]														
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	271 (-) [-]	- (-) [-]	460 (-) [-]	- (-) [-]	376 (-) [-]	- (-) [-]	334 (-) [-]	- (-) [-]	320 (-) [-]	- (-) [-]				
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	261 (-) [-]	- (-) [-]	448 (-) [-]	- (-) [-]	372 (-) [-]	- (-) [-]	329 (-) [-]	- (-) [-]	318 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	205 (-) [-]	- (-) [-]	364 (-) [-]	- (-) [-]	280 (-) [-]	- (-) [-]	303 (-) [-]	- (-) [-]	289 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	79 (-) [-]	- (-) [-]	78 (-) [-]	- (-) [-]	84 (-) [-]	- (-) [-]	74 (-) [-]	- (-) [-]	87 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	-		0.79		0.78		0.84		0.74		0.87					

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期									
1年次	-	-	78	-	79	-	83	-	74	-	91	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( )	( )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 2 )	( )	( 4 )	( - )	
2年次			-	-	77	-	70	-	78	-	75	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 3 )	( )	( 6 )	( )	
3年次					-	-	72	-	60	-	79	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( 2 )	( )	( 7 )	( )	
4年次							-	-	69	-	57	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( 0 )	( )	( 3 )	( )	
5年次									-	-	64	-	
									[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
									( )	( )	( 0 )	( )	
6年次											-	-	
											[ - ]	[ - ]	
											( - )	( - )	
計	-		78		156		225		281		366		
	[ - ]		[ - ]		[ - ]		[ - ]		[ - ]		[ - ]		
	( - )		( - )		( 1 )		( 5 )		( 7 )		( 20 )		

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	79 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	就学意欲の低下
令和3年度	156 人	7 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	学力不足
			令和3年度	6 人	0 人	就学意欲の低下
令和4年度	228 人	6 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	疾病・治療
			令和3年度	3 人	0 人	進路変更、就学意欲の低下
			令和4年度	2 人	0 人	経済的理由、就学意欲の低下
令和5年度	299 人	8 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更のため
			令和3年度	4 人	0 人	除籍、進路変更のため
			令和4年度	2 人	0 人	進路変更のため
			令和5年度	1 人	0 人	就学意欲の低下
令和6年度	378 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		22 人		22 人	0 人	

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{79} = \boxed{1.26} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{156} = \boxed{4.48} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{228} = \boxed{2.63} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{299} = \boxed{2.67} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{378} = \boxed{0} \%$$

2 授業科目の概要

<薬学部 薬学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
薬学準備科目	化学	1前	1			1						
	物理学	1前	1			1						
	生物学	1前	1			1						
	数学	1前	1								兼1	
	情報処理	1前	1								兼2	
	統計学	1後	1								兼1	
	薬学基礎実習	1後	1			5	4	1	2	1		
	アカデミック基礎セミナー *アカデミックワークショップ実習	1前	0.5			1	4	1				兼2
	アカデミック基礎セミナー *アカデミックワークショップ実習	2後	0.5									兼2
	アカデミック技法	3後	0.5									兼2
	アカデミック技法	1後	0.5			1						
	ボランティア技法	1前	0.5									兼1
	手話技法	2前	0.5									兼1
	心理学	2前	1									兼1
	社会慣習・マナー	1前	0.5									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	経済学	2前	1									兼1
	法学	2前	1									兼1
	教育学	1後	1									兼1
	健康スポーツ実技	1前	1									兼1
基礎英語	1前	1									兼1	
英語 I	1後	1					1					
英語 II	2前	1									兼1	
英語 III	2後	1									兼1	
英会話 I	2後	1									兼1	
英会話 II	3前	1					1					
ドイツ語	1後	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ポルトガル語	3後	1									兼1	
中国語	2後	1									兼1	
小計 (30科目)	-	16	10.5	0	5	6	2	1	1		兼19	
薬学基本科目	薬学概論	1前	1.5			4	2					
	チーム医療論	1前	1			3						兼4
	倫理学	1前	1.5									兼1
	生命倫理学	1後	1.5									兼1
	医学概論	1前	1			3						兼4
	薬学入門	1前	1			5	3					
	医療コミュニケーション	1後	1					1				
	医療コミュニケーション	4後	1					1				
	薬学基礎セミナー	1後	1.5			3	3					
	薬事関係法規 I	3後	1.5				1					
	薬事関係法規 II	4前	1.5				1					
	医療経済・制度論	3前	1.5									兼1
	地域診療薬学	2前	1.5			1	1					兼1
	薬局経営論	6前	1									兼3
	実践社会薬学	6後	1									兼3
小計 (15科目)	-	18	1	0	11	5	1	0	0		兼15	
薬学専門基礎科目	物理化学 I	1後	1.5			1						
	物理化学 II	2前	1.5			1						
	分析化学 I	1後	1.5			1						
	分析化学 II	2前	1.5			1						
	機器分析化学	3前	1.5			1						
	物理系実習	2後	1			2				1	1	
	物理系薬学演習	2後	1			2						
	無機化学	1後	1			1						
	有機化学 I	1後	1.5			1	1					
	有機化学 II	2前	1.5			1						
	有機化学 III	2後	1.5			1						
	有機化学 IV	2後	1.5			1	1					
	生体有機化学	3前	1			1						
	有機構造解析学	2後	1.5			1						
	化学系実習	3前	1			1	1			1	1	
	化学系薬学演習	3前	1			1	1			1	1	
	生薬学	1後	1.5			1						
	天然物薬品化学	3前	1.5			1					1	
	薬用植物学	1前	1.5			1						
	生薬学実習	2前	1			1				1	1	
	生薬学演習	2前	1			1				1	1	
	機能形態学 I	1前	1.5			1	1					
	機能形態学 II	1後	1.5			1	1					
	機能形態学 III	2前	1.5			1	1					
	生化学 I	1後	1.5			1	1					
	生化学 II	2前	1.5			1						
	分子生物学	2前	1.5			2						
	細胞生物学	2後	1.5			1						
	微生物学 I	1後	1.5			1						
	微生物学 II	2前	1.5			1	1					
	免疫学 I	2前	1.5			1						
	免疫学 II	2後	1			1	1					
	生物系実習	2後	1			3	2			1	1	
	生物系薬学演習	2後	1			3	2					
小計 (34科目)	-	135	0	0	7	4	1	3	3			

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
薬学準備科目	化学	1前	1			1						
	物理学	1前	1			1						
	生物学	1前	1			1						
	数学	1前	1									兼1
	情報処理	1前	1									兼1
	統計学	1後	1									兼1
	薬学基礎実習	1後	1			5	4	1	2	1		
	アカデミック基礎セミナー *アカデミックワークショップ実習	1前	0.5			1	4	1				兼2
	アカデミック基礎セミナー *アカデミックワークショップ実習	2後	0.5									兼2
	アカデミック技法	3後	0.5									兼2
	アカデミック技法	1後	0.5			1						
	ボランティア技法	1前	0.5									兼1
	手話技法	2前	0.5									兼1
	心理学	2前	1									兼1
	社会慣習・マナー	1前	0.5									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	経済学	2前	1									兼1
	法学	2前	1									兼1
	教育学	1後	1									兼1
	健康スポーツ実技	1前	1									兼1
基礎英語	1前	1									兼1	
英語 I	1後	1									兼1	
英語 II	2前	1									兼1	
英語 III	2後	1									兼1	
英会話 I	2後	1									兼1	
英会話 II	3前	1					1					
ドイツ語	1後	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ポルトガル語	3後	1									兼1	
中国語	2後	1									兼1	
小計 (30科目)	-	16	10.5	0	5	6	2	1	1		兼23	
薬学基本科目	薬学概論	1前	1.5			4	2					
	チーム医療論	1前	1			3						兼4
	倫理学	1前	1.5									兼1
	生命倫理学	1後	1.5									兼1
	医学概論	1前	1			3						兼4
	薬学入門	1前	1			5	3					
	医療コミュニケーション	1後	1					1				
	医療コミュニケーション	4後	1					1				
	薬学基礎セミナー	1後	1.5			3	3					
	薬事関係法規 I	3後	1.5				1					
	薬事関係法規 II	4前	1.5				1					
	医療経済・制度論	3前	1.5									兼1
	地域診療薬学	2前	1.5			1	1					兼1
	薬局経営論	6前	1									兼3
	実践社会薬学	6後	1									兼3
小計 (15科目)	-	18	1	0	11	5	1	0	0		兼17	
薬学専門基礎科目	物理化学 I	1後	1.5			1						
	物理化学 II	2前	1.5			1						
	分析化学 I	1後	1.5			1						
	分析化学 II	2前	1.5			1						
	機器分析化学	3前	1.5			1						
	物理系実習	2後	1			2				1	1	
	物理系薬学演習	2後	1			2						
	無機化学	1後	1			1						
	有機化学 I	1後	1.5			1	1					
	有機化学 II	2前	1.5			1						
	有機化学 III	2後	1.5			1						
	有機化学 IV	2後	1.5			1	1					
	生体有機化学	3前	1			1						
	有機構造解析学	2後	1.5			1						
	化学系実習	3前	1			1	1			1	1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
薬学専門科目	公衆衛生学	2後	1.5			1	1					兼1
	食品化学と健康	2後	1.5			1	1					
	衛生化学Ⅰ	3前	1.5			1						
	衛生化学Ⅱ	3後	1.5			1		1				
	衛生系実習	3後	1			1		1		1		
	衛生系薬学演習	4前	1			1	1	1				兼1
	サプリメント概論	6前	1.5			1						
	薬理学Ⅰ	2前	1.5			1		1				
	薬理学Ⅱ	2後	1.5			1	1					
	薬理学Ⅲ	3前	1.5			1	1					
	薬理系実習	3前	1			1	1	1			1	
	薬理系薬学演習	3後	1			1	1	1				
	薬物動態学Ⅰ	2後	1.5			1						
	薬物動態学Ⅱ	3前	1.5			1						
	薬物動態学実習	3後	1			1		1			2	
	薬物動態学演習	4前	1			1		1			1	
	感染症治療学Ⅰ	2後	1.5			1						
	感染症治療学Ⅱ	3前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学Ⅰ	3前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学Ⅱ	3後	1.5			3						
	病態薬物治療学Ⅲ	3後	1.5			1	2					
	病態薬物治療学Ⅳ	4前	1.5			3						
	病態薬物治療学Ⅴ (呼吸器・消化 病態薬物治療学Ⅴ (代謝・内分 泌・感覚器・皮 膚性腫瘍治療学	4前	1.5			1	1	1				
	悪性腫瘍治療学	4前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学演習	4後	1			3	3					
	セルフメディケー	3後	1.5			1	1	1				
	医薬品情報学	3後	1.5					2				
	臨床統計解析学	3後	1.5									兼1
	医療情報系薬学演習	4前	1					2				
	製剤学Ⅰ	3前	1.5			1						
	製剤学Ⅱ	3後	1.5			1						
	症候学	6前	1.5			3	2					
	臨床薬剤学	4後	1.5			2	2					
	漢方の基礎	3前	1				1					兼1
	漢方薬学	3後	1.5									兼1
	放射線検査医学総論	3前	1.5									兼7
	臨床検査医学総論	3後	1.5									兼1
	病態情報解析学	4前	1			1						
	処方解析演習	6前	1			2	2					
	香粧品学	6前	1									兼1
	鍼灸治療論	6前	1				1					
	創薬化学特論	6前	1									兼1
	医薬品開発概論	6前	1									兼1
	地域健康サポート	4前	1				2					兼1
医薬品副作用学	6前	1.5									兼1	
早期体験学習	1前	1			3	2	1					
救急処置法	1前	1			1							
フィジカルアセス	3前	1			3	2						
フィジカルアセス	3後	1			3	2						
チーム医療演習	6前	1			2	1					兼8	
実務実習ブレ教育	4前	3			4	2	1					
実務実習ブレ教育	4後	3			4	2	1					
薬局実務実習	5通	10			4	2	1					
病院実務実習	5通	10			4	2	1					
臨床薬学演習	6前	1			3	2	1					
在宅・地域医療薬	4後	1.5				1					兼2	
災害薬学	6前	1									兼2	
総合薬学特論Ⅰ	6前	1			7	1						
総合薬学特論Ⅱ	6前	1			1	1	1				兼1	
総合薬学特論Ⅲ	6前	1			5	3						
総合薬学特論Ⅳ	6前	1			3	2	1					
総合薬学特論Ⅴ	6後	1.5			11	4						
特別研究Ⅰ	4通	2				13	2					
特別研究Ⅱ	5通	2				13	2					
特別研究Ⅲ	6通	2				13	2					
小計(65科目)	—	97.5	8.0	0.0	15	8	4	1	3			兼24
合計(144科目)	—	177.0	19.5	0.0	16	10	5	3	3			兼60

卒業要件及び履修方法

卒業要件として、必修科目177.0単位(薬学準備科目16.0単位/自然科学7.0単位/コミュニケーション2.0単位・健康とスポーツ1.0単位・外国語6.0単位)、(薬学基本科目18.0単位/基本事項0.5単位・薬学と社会8.5単位)、(薬学専門基礎科目45.5単位/薬学基礎(物理)9.5単位・薬学基礎(化学)18.0単位・薬学基礎(生物)18.0単位)、(薬学専門科目97.5単位/衛生薬学8.0単位・医療薬学44.5単位・薬学臨床39.0単位・薬学研究6.0単位)。

選択科目9.5単位以上(薬学準備科目5.5単位以上/コミュニケーション1.5単位以上・社会科学2.0単位以上・外国語2.0単位以上)、(薬学基本科目と薬学専門科目から4単位以上)、計186.5単位以上で修得すること。

(履修科目の上限:46単位(年間))

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
薬学専門科目	公衆衛生学	2後	1.5			1	1					兼1
	食品化学と健康	2後	1.5			1	1					
	衛生化学Ⅰ	3前	1.5			1						
	衛生化学Ⅱ	3後	1.5			1		1				
	衛生系実習	3後	1			1		1		1		
	衛生系薬学演習	4前	1			1	1	1				兼1
	サプリメント概論	6前	1.5			1						
	薬理学Ⅰ	2前	1.5			1		1				
	薬理学Ⅱ	2後	1.5			1	1					
	薬理学Ⅲ	3前	1.5			1	1					
	薬理系実習	3前	1			1	1	1			1	
	薬理系薬学演習	3後	1			1	1	1				
	薬物動態学Ⅰ	2後	1.5			1						
	薬物動態学Ⅱ	3前	1.5			1						
	薬物動態学実習	3後	1			1		1			2	
	薬物動態学演習	4前	1			1		1			1	
	感染症治療学Ⅰ	2後	1.5			1						
	感染症治療学Ⅱ	3前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学Ⅰ	3前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学Ⅱ	3後	1.5			3						
	病態薬物治療学Ⅲ	3後	1.5			1	2					
	病態薬物治療学Ⅳ	4前	1.5			3						
	病態薬物治療学Ⅴ (呼吸器・消化 病態薬物治療学Ⅴ (代謝・内分 泌・感覚器・皮 膚性腫瘍治療学	4前	1.5			1	1	1				
	悪性腫瘍治療学	4前	1.5			1	1					
	病態薬物治療学演習	4後	1			3	3					
	セルフメディケー	3後	1.5			1	1	1				
	医薬品情報学	3後	1.5					2				
	臨床統計解析学	3後	1.5									兼1
	医療情報系薬学演習	4前	1					2				
	製剤学Ⅰ	3前	1.5			1						
	製剤学Ⅱ	3後	1.5			1						
	症候学	6前	1.5			3	2					
	臨床薬剤学	4後	1.5			2	2					
	漢方の基礎	3前	1				1					兼1
	漢方薬学	3後	1.5									兼1
	放射線検査医学総論	3前	1.5									兼7
	臨床検査医学総論	3後	1.5									兼1
	病態情報解析学	4前	1			1						
	処方解析演習	6前	1			2	2					
	香粧品学	6前	1									兼1
	鍼灸治療論	6前	1				1					
	創薬化学特論	6前	1									兼1
	医薬品開発概論	6前	1									兼1
	地域健康サポート	4前	1				2					兼1
医薬品副作用学	6前	1.5									兼1	
早期体験学習	1前	1			3	2	1					
救急処置法	1前	1			1							
フィジカルアセス	3前	1			3	2						
フィジカルアセス	3後	1			3	2						
チーム医療演習	6前	1			2	1					兼8	
実務実習ブレ教育	4前	3			4	2	1					
実務実習ブレ教育	4後	3			4	2	1					
薬局実務実習	5通	10			4	2	1					
病院実務実習	5通	10			4	2	1					
臨床薬学演習	6前	1			3	2	1					
在宅・地域医療薬	4後	1.5				1					兼2	
災害薬学	6前	1									兼2	
総合薬学特論Ⅰ	6前	1			7	1						
総合薬学特論Ⅱ	6前	1			1	1	1				兼1	
総合薬学特論Ⅲ	6前	1			5	3						
総合薬学特論Ⅳ	6前	1			3	2	1					
総合薬学特論Ⅴ	6後	1.5			11	4						
特別研究Ⅰ	4通	2				13	2					
特別研究Ⅱ	5通	2				13	2					
特別研究Ⅲ	6通	2				13	2					
小計(65科目)	—	97.5	8.0	0.0	15	8	4	1	3			兼24
合計(144科目)	—	177.0	19.5	0.0	16	10	5	3	3			兼60

卒業要件及び履修方法

卒業要件として、必修科目177.0単位(薬学準備科目16.0単位/自然科学7.0単位/コミュニケーション2.0単位・健康とスポーツ

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
薬学準備科目	化学	1前	1			1			1			
	物理学	1前	1			1						
	生物学	1前	1			1						
	数学	1前	1								兼1	
	情報処理	1前	1								兼1	
	統計学	1後	1								兼1	
	薬学基礎実習	1後	1			5	4	1	2	1		
	アカデミック基礎セミナー コミュニケーションワークショップ(英)	1前	0.5			1	4	1				兼2
	コミュニケーションワークショップ(英)	2後	0.5									兼2
	アカデミック技法	3後	0.5									兼2
	アカデミック技法	1後	0.5			1						
	ボランティア技法	1前	0.5									兼1
	手話技法	2前	0.5									兼1
	心理学	2前	1									兼1
	社会慣習・マナー	1前	0.5									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	経済学	2前	1									兼1
	法学	2前	1									兼1
	教育学	1後	1									兼1
	健康スポーツ実技	1前	1									兼1
基礎英語	1前	1					1					
英語 I	1後	1					1					
英語 II	2前	1									兼1	
英語 III	2後	1									兼1	
英会話 I	2後	1					1				兼1	
英会話 II	3前	1					1					
ドイツ語	1後	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ポルトガル語	3後	1									兼1	
中国語	2後	1									兼1	
小計 (30科目)	—	16	10.5	0	5	6	2	1	1	1	兼20	
薬学基本科目	薬学概論	1前	1.5			4	2					
	チーム医療論	1前	1			3						兼4
	倫理学	1前	1.5									兼1
	生命倫理学	1後	1.5									兼1
	医学概論	1前	1			3						兼4
	薬学入門	1前	1			5	3					
	医療コミュニケーション	1後	1					1				
	医療コミュニケーション	4後	1					1				
	薬学基礎セミナー	1後	1.5			3	3					
	薬事関係法規 I	3後	1.5			1						
	薬事関係法規 II	4前	1.5			1						
	医療経済・制度論	3前	1.5									兼1
	地域診療薬学	2前	1.5			1	1					兼1
	薬局経営論	6前	1									兼3
	実践社会薬学	6後	1									兼3
小計 (15科目)	—	18	1	0	11	5	1	0	0	0	兼15	
薬学専門基礎科目	物理化学 I	1後	1.5			1						
	物理化学 II	2前	1.5			1			1			
	分析化学 I	1後	1.5			1						
	分析化学 II	2前	1.5			1						
	機器分析化学	3前	1.5			1						
	物理系実習	2後	1			2			1	1		
	物理系薬学演習	2後	1			2						
	無機化学	1後	1			1						
	有機化学 I	1後	1.5			1	1					
	有機化学 II	2前	1.5			1						
	有機化学 III	2後	1.5			1						
	有機化学 IV	2後	1.5			1						
	生体有機化学	3前	1			1						
	有機構造解析学	2後	1.5			1						
	化学系実習	3前	1			1	1		1	1		
	化学系薬学演習	3前	1			1	1		1	1		
	生薬学	1後	1.5			1						
	天然物薬品化学	3前	1.5			1			1			
	薬用植物学	1前	1.5			1						
	生薬学実習	2前	1			1			1	1		
	生薬学演習	2前	1			1			1	1		
	機能形態学 I	1前	1.5			1	1					
	機能形態学 II	1後	1.5			1	1					
	機能形態学 III	2前	1.5			1	1					
	生化学 I	1後	1.5			1	1					
	生化学 II	2前	1.5			1						
	分子生物学	2前	1.5			2						
	細胞生物学	2後	1.5			1						
	微生物学 I	1後	1.5			1						
	微生物学 II	2前	1.5			1	1					
	免疫学 I	2前	1.5			1						
	免疫学 II	2後	1			1						
	生物系実習	2後	1			3	2	1		1		
	生物系薬学演習	2後	1			3	2					
小計 (34科目)	—	53.5	0	0	7	4	1	3	3	3		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
薬学準備科目	化学	1前	1			1			1			
	物理学	1前	1			1						
	生物学	1前	1			1						
	数学	1前	1									兼1
	情報処理	1前	1									兼2
	統計学	1後	1									兼1
	薬学基礎実習	1後	1			5	4	1	2	1		
	アカデミック基礎 コミュニケーションワークショップ(英)	1前	0.5			1	4	1				兼2
	コミュニケーションワークショップ(英)	2後	0.5									兼2
	アカデミック技法	3後	0.5									兼2
	アカデミック技法	1後	0.5			1						
	ボランティア技法	1前	0.5									兼1
	手話技法	2前	0.5									兼1
	心理学	2前	1									兼1
	社会慣習・マナー	1前	0.5									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	経済学	2前	1									兼1
	法学	2前	1									兼1
	教育学	1後	1									兼1
	健康スポーツ実技	1前	1									兼1
基礎英語	1前	1						1				
英語 I	1後	1						1				
英語 II	2前	1									兼1	
英語 III	2後	1									兼1	
英会話 I	2後	1						1			兼1	
英会話 II	3前	1						1				
ドイツ語	1後	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ポルトガル語	3後	1									兼1	
中国語	2後	1									兼1	
小計 (30科目)	—	16	10.5	0	5	6	2	1	1	1	兼20	
薬学基本科目	薬学概論	1前	1.5			4	2					
	チーム医療論	1前	1			3						兼4
	倫理学	1前	1.5									兼1
	生命倫理学	1後	1.5									兼1
	医学概論	1前	1			3						兼4
	薬学入門	1前	1			5	3					
	医療コミュニケーション	1後	1					1				
	医療コミュニケーション	4後	1					1				
	薬学基礎セミナー	1後	1.5			3	3					
	薬事関係法規 I	3後	1.5			1						
	薬事関係法規 II	4前	1.5			1						
	医療経済・制度論	3前	1.5									兼1
	地域診療薬学	2前	1.5			1	1					兼1
	薬局経営論	6前	1									兼3
	実践社会薬学	6後	1									兼3
小計 (15科目)	—	18	1	0	11	5	1	0	0	0	兼15	
薬学専門基礎科目	物理化学 I	1後	1.5			1						
	物理化学 II	2前	1.5			1			1			
	分析化学 I	1後	1.5			1						
	分析化学 II	2前	1.5			1						
	機器分析化学	3前	1.5			1						
	物理系実習	2後	1			2			1	1		
	物理系薬学演習	2後	1			2						
	無機化学	1後	1			1						
	有機化学 I	1後	1.5			1	1					
	有機化学 II	2前	1.5			1						
	有機化学 III	2後	1.5			1						
	有機化学 IV	2後	1.5			1						
	生体有機化学	3前	1			1						
	有機構造解析学	2後	1.5			1						
	化学系実習	3前	1			1	1		1	1		
	化学系薬学演習	3前	1			1	1		1	1		
	生薬学	1後	1.5			1						



(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

特になし。

**【令和3年度】**

・専任教員の赴任が令和3年4月から令和4年4月となったことから、「薬理学1」の専任教員の配置を「講師1」から「講師0」に変更。なお、本講師の担当部分は、本科目の教授が担当することとする。(令和2年9月AC教員審査受審済)

**【令和4年度】**

・令和3年度履行状況調査報告時に講師1名が着任延期となり、「薬理学1」の専任教員等の配置を変更した。当該講師1名について予定通り令和4年4月に着任した為、「薬理学1」を認可申請時の専任教員等の配置状態に戻す。

**【令和5年度】**

変更なし。

**【令和6年度】**

特になし。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
124 科目	20 科目	0 科目	144 科目	124 科目 [       ]	20 科目 [       ]	0 科目 [       ]	144 科目 [       ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{144} = \boxed{0}\%$$

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	65,616.54㎡	- ㎡	- ㎡	65,616.54㎡				
	運 動 場 用 地	15,564.00㎡	- ㎡	- ㎡	15,564.00㎡				
	小 計	81,180.54	- ㎡	- ㎡	81180.54				
	そ の 他	146,371.06	- ㎡	- ㎡	146371.06				
	合 計	227,551.60㎡	- ㎡	- ㎡	227,551.60㎡				
(2) 校 舎	専 用	32,514.60㎡	- ㎡	- ㎡	32,514.60㎡				
	(32,514.60㎡)	( - ㎡)	( - ㎡)	(32,514.60㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	36室	16室	54室	4室 (補助職員 一人)	1室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	薬学部 薬学科			30 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	外国書の完成年度冊数増加は、内容を英語多読用の安価なものとして冊数を増やしたため。予算金額は変わらない。(3) 学生・教員からの希望図書を中心に購入したところ、和書は当初予定を超過する見通しとなった。洋書についてもこれまでの購入実績から完成年度の予定冊数を変更した。(5)	
	薬学部	4,305〔400〕 -〔558〕 4,814〔487〕 ( 4,470〔480〕 )	38〔8〕	7〔7〕	60 ( 55 )	4,255 (4,255)	0 (0)		
	計	4,305〔400〕 -〔558〕 4,814〔487〕 ( 4,470〔480〕 )	38〔8〕	7〔7〕	60 ( 55 )	4,255 (4,255)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	2,176.73㎡		252		170,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,783.08㎡		テニスコート2面、屋外バスケットコート1面 体 育 室 2 部 屋						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	規程変更のため(5)
		教員1人当たり研究費等	600千円	上限800 600千円	図書購入費	34,053千円	16,004千円	19,690千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	992,243千円	12,434千円	32,000千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		2,150千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円	1,950千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、補助活動収入、寄付金、雑収入等							

4 既設大学等の状況

大学の名称	岐阜医療科学大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率		収容定員充足率(控除後)		定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
看護学部	4	100	-	400	-	1.05	-	1.00	-	-	平成30年度	岐阜県可児市虹ヶ丘		
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.05	-	1.00	-	-	平成30年度	同上		
保健科学部	4	180	-	720	-	1.07	-	1.03	-	-	平成18年度	岐阜県関門市平賀字長峰795-1		
臨床検査学科	4	90	-	360	学士(保健学)	0.96	-	0.91	-	-	平成18年度	同上		
放射線技術学科	4	90	-	360	学士(保健学)	1.19	-	1.15	-	-	平成18年度	同上		
薬学部	6	100	-	600	-	0.75	-	0.75	-	-	令和2年度	岐阜県可児市虹ヶ丘		
薬学科	6	100	-	600	学士(薬学)	0.75	-	0.75	-	-	令和2年度	同上		
大学全体		380	-	1720	-	-	-	-	-	-	-	-		





兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
専	准教授	宇野 文二 (41)					
		岩城 社一郎 (46)					
専	准教授	小畑 孝二 (48)	小畑 孝二 (49)	小畑 孝二 (50)	小畑 孝二 (51)	小畑 孝二 (52)	小畑 孝二 (52)
		高 森 坤 (48)	高 森 坤 (49)	高 森 坤 (50)	高 森 坤 (51)	高 森 坤 (52)	高 森 坤 (52)
専	准教授	世戸 孝樹 (37)	世戸 孝樹 (37)	世戸 孝樹 (38)	世戸 孝樹 (40)	世戸 孝樹 (40)	世戸 孝樹 (40)
		濱武 通子 (61)	濱武 通子 (62)	濱武 通子 (63)	濱武 通子 (64)	濱武 通子 (65)	濱武 通子 (65)
専	准教授	松井 教聡 (46)	松井 教聡 (47)	松井 教聡 (48)	松井 教聡 (49)	松井 教聡 (50)	松井 教聡 (50)
		萬代 大樹 (42)	萬代 大樹 (43)	萬代 大樹 (44)	萬代 大樹 (45)	萬代 大樹 (46)	萬代 大樹 (46)
専	准教授	村上 泰介 (41)	村上 泰介 (42)	村上 泰介 (43)	村上 泰介 (44)	村上 泰介 (45)	村上 泰介 (45)
		井戸(中島) 章子 (45)	井戸(中島) 章子 (46)	井戸(中島) 章子 (47)	井戸(中島) 章子 (48)	井戸(中島) 章子 (49)	井戸(中島) 章子 (49)
専	講師	所 俊志 (39)	所 俊志 (40)	所 俊志 (41)	所 俊志 (42)	所 俊志 (43)	所 俊志 (43)

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	宇野 文二 (44) <令和2年4月>	専	講師	宇野 文二 (45) <令和2年4月>	専	講師	宇野 文二 (46) <令和2年4月>	専	講師	宇野 文二 (47) <令和2年4月>
		基礎英語 英語 I 英会話 I 英会話 II									
専	講師	吉岡 弘毅 (34) <令和3年4月>	専	講師	吉岡 弘毅 (35) <令和4年4月>	専	講師	吉岡 弘毅 (36) <令和4年4月>	専	講師	吉岡 弘毅 (37) <令和4年4月>
		薬理学 I 薬理系実習 薬理系薬学演習 病態薬物治療学 V									
専	助教	磯野 蒼 (29) <令和2年4月>	専	助教	磯野 蒼 (30) <令和2年4月>	専	助教	磯野 蒼 (31) <令和2年4月>	専	助教	磯野 蒼 (32) <令和2年4月>
		物理化学 II 物理系実習									
専	助教	小縣 綾 (33) <令和2年4月>	専	助教	小縣 綾 (35) <令和2年4月>	専	助教	小縣 綾 (36) <令和2年4月>	専	助教	小縣 綾 (37) <令和2年4月>
		化学 薬学基礎実習 化学系実習 化学系薬学演習			化学 薬学基礎実習 化学系実習 化学系薬学演習			化学 薬学基礎実習 化学系実習 化学系薬学演習			化学 薬学基礎実習 化学系実習 化学系薬学演習
専	助教	深谷 匡 (30) <令和2年4月>	専	助教	深谷 匡 (31) <令和2年4月>	専	助教	深谷 匡 (32) <令和2年4月>	専	助教	深谷 匡 (33) <令和2年4月>
		薬学基礎実習 天然物薬品化学 生薬学実習 生薬学演習			薬学基礎実習 天然物薬品化学 生薬学実習 生薬学演習			薬学基礎実習 天然物薬品化学 生薬学実習 生薬学演習			薬学基礎実習 天然物薬品化学 生薬学実習 生薬学演習
専	教授	梅村 雅之 (54) <令和2年4月>	専	教授	梅村 雅之 (55) <令和2年4月>	専	教授	梅村 雅之 (56) <令和2年4月>	専	教授	梅村 雅之 (57) <令和2年4月>
		薬学入門 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 IV 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			薬学入門 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 IV 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			薬学入門 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 IV 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			薬学入門 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 IV 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III
専	教授	重山 昌人 (63) <令和2年4月>	専	教授	重山 昌人 (64) <令和2年4月>	専	教授	重山 昌人 (65) <令和2年4月>	専	教授	重山 昌人 (66) <令和2年4月>
		チーム医療論 医学概論 薬学入門 病態薬物治療学 IV 悪性腫瘍治療学 病態薬物治療学演習 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 地域健康サポート演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 III 総合薬学特論 IV 総合薬学特論 V 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			チーム医療論 医学概論 薬学入門 病態薬物治療学 IV 悪性腫瘍治療学 病態薬物治療学演習 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 地域健康サポート演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 III 総合薬学特論 IV 総合薬学特論 V 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			チーム医療論 医学概論 薬学入門 病態薬物治療学 IV 悪性腫瘍治療学 病態薬物治療学演習 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 地域健康サポート演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 III 総合薬学特論 IV 総合薬学特論 V 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III			チーム医療論 医学概論 薬学入門 病態薬物治療学 IV 悪性腫瘍治療学 病態薬物治療学演習 症候学 臨床薬理学 処方解析演習 地域健康サポート演習 早期体験学習 フィジカルアセスメント論 フィジカルアセスメント演習 チーム医療演習 実務実習ブレ教育 I 実務実習ブレ教育 II 薬局実務実習 病院実務実習 臨床薬学演習 総合薬学特論 III 総合薬学特論 IV 総合薬学特論 V 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III





兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	宇野 文二 (66) 福澤 大樹 (37) <令和5年4月> チーム医療演習 在宅・地域医療実学演習

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	宇野 文二 (66) 福澤 大樹 (37) <令和5年4月> チーム医療演習 在宅・地域医療実学演習

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	宇野 文二 (66) 福澤 大樹 (37) <令和5年4月> チーム医療演習 在宅・地域医療実学演習
		中村 浩二 (58) <令和4年4月> チーム医療論
兼任	教授	今田 葉子 (51) <令和4年4月> チーム医療論 医学演習

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇野 文二 (66) 福澤 大樹 (37) <令和5年4月> チーム医療演習 在宅・地域医療実学演習
		中村 浩二 (58) <令和4年4月> チーム医療論
兼任	教授	今田 葉子 (51) <令和4年4月> チーム医療論 医学演習

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇野 文二 (66) 福澤 大樹 (37) <令和5年4月> チーム医療演習 在宅・地域医療実学演習
		中村 浩二 (58) <令和4年4月> チーム医療論
兼任	教授	今田 葉子 (51) <令和4年4月> チーム医療論 医学演習

兼任	教授	三谷 智子 (66) <令和7年4月> 災害実学
		有川 幸孝 (67) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	磯村 尚弘 (44) <令和2年4月> ドイツ語
		井上紳太郎 (72) <令和7年4月> 香粧品学
兼任	講師	井深 宏和 (54) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		梅本 大介 (36) <令和2年4月> 教育学
兼任	講師	衛 紀生 (74) <令和3年4月> コミュニケーション・ワーク ショップ演習I※ コミュニケーション・ワーク ショップ演習II※
		大橋 哲也 (64) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
兼任	講師	大脇 弘之 (69) <令和7年4月> 創薬化学特論 医薬品開発概論
		岡本 秀範 (70) <令和3年4月> 英語III
兼任	講師	小川 久 (64) <令和2年4月> 健康スポーツ実技
		菅野 進 (74) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	北村 隆幸 (39) <令和2年4月> ポランディア技法
		坂江 レアンドロ ユウキ (39) <令和4年4月> ポルトガル語 地域健康サポート演習※
兼任	講師	ジェリマイ・ホール Jeremiah L. Hall (41) <令和3年4月> 英会話I
		代田 知之 (31) <令和3年4月> 経済学
兼任	講師	杉浦 昭子 (71) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		鈴木 朋子 (58) <令和3年4月> 英語II
兼任	講師	染川 智勇 (54) <令和3年4月> 手話技法
		館 知也 (45) <令和4年4月> 医療経済・制度論
兼任	講師	趙 賢美 (46) <令和2年4月> 韓国語

兼任	教授	三谷 智子 (67) <令和7年4月> 災害実学
		有川 幸孝 (68) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	磯村 尚弘 (46) <令和2年4月> ドイツ語
		井上紳太郎 (73) <令和7年4月> 香粧品学
兼任	講師	井深 宏和 (55) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		衛 紀生 (75) <令和3年4月> コミュニケーション・ワーク ショップ演習I※ コミュニケーション・ワーク ショップ演習II※
兼任	講師	大橋 哲也 (65) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		大脇 弘之 (70) <令和7年4月> 創薬化学特論 医薬品開発概論
兼任	講師	岡本 秀範 (71) <令和3年4月> 英語II
		菅野 進 (75) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	北村 隆幸 (40) <令和2年4月> ポランディア技法
		坂江 レアンドロ ユウキ (40) <令和4年4月> ポルトガル語 地域健康サポート演習※
兼任	講師	代田 知之 (32) <令和3年4月> 経済学
		杉浦 昭子 (72) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
兼任	講師	染川 智勇 (55) <令和3年4月> 手話技法
		館 知也 (46) <令和4年4月> 医療経済・制度論
兼任	講師	趙 賢美 (47) <令和2年4月> 韓国語

兼任	講師	三谷 智子 (68) <令和7年4月> 災害実学
		有川 幸孝 (69) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	磯村 尚弘 (47) <令和2年4月> ドイツ語
		井上紳太郎 (74) <令和7年4月> 香粧品学
兼任	講師	井深 宏和 (56) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		衛 紀生 (76) <令和3年4月> コミュニケーション・ワーク ショップ演習I※ コミュニケーション・ワーク ショップ演習II※
兼任	講師	大橋 哲也 (66) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		大脇 弘之 (71) <令和7年4月> 創薬化学特論 医薬品開発概論
兼任	講師	岡本 秀範 (72) <令和3年4月> 英語II
		菅野 進 (76) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	北村 隆幸 (41) <令和2年4月> ポランディア技法
		坂江 レアンドロ ユウキ (41) <令和4年4月> ポルトガル語 地域健康サポート演習※
兼任	講師	代田 知之 (33) <令和3年4月> 経済学
		杉浦 昭子 (73) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
兼任	講師	染川 智勇 (56) <令和3年4月> 手話技法
		趙 賢美 (48) <令和2年4月> 韓国語

兼任	講師	三谷 智子 (69) <令和7年4月> 災害実学
		有川 幸孝 (70) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	磯村 尚弘 (48) <令和2年4月> ドイツ語
		井上紳太郎 (75) <令和7年4月> 香粧品学
兼任	講師	井深 宏和 (57) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		衛 紀生 (77) <令和3年4月> コミュニケーション・ワーク ショップ演習I※ コミュニケーション・ワーク ショップ演習II※
兼任	講師	大橋 哲也 (67) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		大脇 弘之 (72) <令和7年4月> 創薬化学特論 医薬品開発概論
兼任	講師	岡本 秀範 (73) <令和3年4月> 英語II
		菅野 進 (77) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	北村 隆幸 (42) <令和2年4月> ポランディア技法
		坂江 レアンドロ ユウキ (42) <令和4年4月> ポルトガル語 地域健康サポート演習※
兼任	講師	代田 知之 (34) <令和3年4月> 経済学
		杉浦 昭子 (74) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
兼任	講師	染川 智勇 (57) <令和3年4月> 手話技法
		趙 賢美 (49) <令和2年4月> 韓国語

兼任	講師	三谷 智子 (70) <令和7年4月> 災害実学
		有川 幸孝 (71) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	磯村 尚弘 (49) <令和2年4月> ドイツ語
		井上紳太郎 (76) <令和7年4月> 香粧品学
兼任	講師	井深 宏和 (58) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		衛 紀生 (78) <令和3年4月> コミュニケーション・ワーク ショップ演習I※ コミュニケーション・ワーク ショップ演習II※
兼任	講師	大橋 哲也 (68) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
		大脇 弘之 (73) <令和7年4月> 創薬化学特論 医薬品開発概論
兼任	講師	岡本 秀範 (74) <令和3年4月> 英語II
		菅野 進 (78) <令和7年4月> 実践社会学
兼任	講師	北村 隆幸 (43) <令和2年4月> ポランディア技法
		坂江 レアンドロ ユウキ (43) <令和4年4月> ポルトガル語 地域健康サポート演習※
兼任	講師	代田 知之 (35) <令和3年4月> 経済学
		杉浦 昭子 (75) <令和7年4月> 薬局経営論 実践社会学
兼任	講師	染川 智勇 (58) <令和3年4月> 手話技法
		趙 賢美 (50) <令和2年4月> 韓国語

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	宇野 文二 (64) 中村 光浩 (59) <令和4年4月>	臨床統計解析学 医薬品副作用学
兼任	講師	西川 信廣 (71) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	萩原 聡央 (50) <令和3年4月>	法学
兼任	講師	蜂須賀 三稀 (60) <令和2年4月>	社会慣習・マナー技法
兼任	講師	林 秀樹 (52) <令和7年4月>	災害薬学
兼任	講師	前田 悟司 (70) <令和4年4月>	臨床検査医学総論
兼任	講師	松永 良治 (70) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	山内 康裕 (58) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	吉川 杉生 (64) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	吉村 知哲 (62) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	飯沼 宗和 (75) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	宇野 文二 (64) 中村 光浩 (61) <令和3年4月>	臨床統計解析学 医薬品副作用学
兼任	講師	西川 信廣 (72) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	萩原 聡央 (50) <令和3年4月>	法学
兼任	講師	蜂須賀 三稀 (60) <令和2年4月>	社会慣習・マナー技法
兼任	講師	林 秀樹 (54) <令和7年4月>	災害薬学
兼任	講師	前田 悟司 (71) <令和4年4月>	臨床検査医学総論
兼任	講師	松永 良治 (70) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	山内 康裕 (59) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	吉川 杉生 (65) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	吉村 知哲 (63) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	飯沼 宗和 (76) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	宇野 文二 (64) 中村 光浩 (62) <令和4年4月>	臨床統計解析学 医薬品副作用学
兼任	講師	西川 信廣 (73) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	萩原 聡央 (51) <令和3年4月>	法学
兼任	講師	蜂須賀 三稀 (61) <令和2年4月>	社会慣習・マナー技法
兼任	講師	林 秀樹 (54) <令和7年4月>	災害薬学
兼任	講師	前田 悟司 (72) <令和4年4月>	臨床検査医学総論
兼任	講師	松永 良治 (71) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	山内 康裕 (60) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	吉川 杉生 (66) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	吉村 知哲 (64) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	飯沼 宗和 (77) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	宇野 文二 (64) 中村 光浩 (63) <令和4年4月>	臨床統計解析学 医薬品副作用学
兼任	講師	西川 信廣 (74) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	萩原 聡央 (52) <令和3年4月>	法学
兼任	講師	蜂須賀 三稀 (62) <令和2年4月>	社会慣習・マナー技法
兼任	講師	林 秀樹 (55) <令和7年4月>	災害薬学
兼任	講師	前田 悟司 (73) <令和4年4月>	臨床検査医学総論
兼任	講師	松永 良治 (72) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	山内 康裕 (61) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	吉川 杉生 (67) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	吉村 知哲 (65) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	飯沼 宗和 (78) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	宇野 文二 (64) 中村 光浩 (63) <令和4年4月>	臨床統計解析学 医薬品副作用学
兼任	講師	西川 信廣 (75) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	萩原 聡央 (53) <令和3年4月>	法学
兼任	講師	蜂須賀 三稀 (63) <令和2年4月>	社会慣習・マナー技法
兼任	講師	林 秀樹 (56) <令和7年4月>	災害薬学
兼任	講師	前田 悟司 (74) <令和4年4月>	臨床検査医学総論
兼任	講師	松永 良治 (73) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	山内 康裕 (61) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	吉川 杉生 (68) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	吉村 知哲 (66) <令和7年4月>	実践社会薬学
兼任	講師	飯沼 宗和 (79) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任	講師	杉山 実加 (32) <令和2年4月>	教育学
兼任	講師	服部 長務 (71) <令和2年4月>	健康スポーツ実技
兼任	講師	ポイズ ニコラス (38) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	マイケル シャーポーン (40) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	ヒュース 由美(潮川 友 美) (58) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	瀧田 蓮子 (50) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	新井 英夫 (54) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ

兼任	講師	杉山 実加 (33) <令和2年4月>	教育学
兼任	講師	服部 長務 (72) <令和2年4月>	健康スポーツ実技
兼任	講師	ポイズ ニコラス (38) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	マイケル シャーポーン (41) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	ヒュース 由美(潮川 友 美) (59) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	瀧田 蓮子 (51) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
兼任	講師	新井 英夫 (55) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ

兼任	講師	杉山 実加 (35) <令和2年4月>	教育学
兼任	講師	服部 長務 (73) <令和2年4月>	健康スポーツ実技
兼任	講師	ポイズ ニコラス (40) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	マイケル シャーポーン (42) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	ヒュース 由美(潮川 友 美) (60) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	瀧田 蓮子 (52) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	新井 英夫 (56) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ

兼任	講師	杉山 実加 (34) <令和2年4月>	教育学
兼任	講師	服部 長務 (74) <令和2年4月>	健康スポーツ実技
兼任	講師	ポイズ ニコラス (41) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	マイケル シャーポーン (43) <令和3年4月>	英語Ⅲ
兼任	講師	ヒュース 由美(潮川 友 美) (61) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	瀧田 蓮子 (53) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ
兼任	講師	新井 英夫 (57) <令和3年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅰ

兼任	講師	市原 裕 (64) <令和4年4月>	医療経済・制度論
兼任	講師	一宮 尚志 (51) <令和4年4月>	臨床統計解析学
兼任	講師	笠 香織 (31) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任	講師	市原 裕 (65) <令和4年4月>	医療経済・制度論
兼任	講師	一宮 尚志 (52) <令和4年4月>	臨床統計解析学
兼任	講師	笠 (深谷) 香織 (32) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任	講師	市原 裕 (66) <令和4年4月>	医療経済・制度論
兼任	講師	一宮 尚志 (53) <令和4年4月>	臨床統計解析学
兼任	講師	笠 (深谷) 香織 (33) <令和4年4月>	漢方薬学

兼任	講師	瀬戸口 都 (58) <令和4年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
----	----	---------------------------	--------------------------

兼任	講師	瀬戸口 都 (59) <令和4年4月>	コミュニケーション・ワーク ショップ演習Ⅱ
----	----	---------------------------	--------------------------



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和2年度】**

専任教員については特になし。

**【令和3年度】**

- ・宗林教授の就任が一身上の都合により、令和3年4月から令和3年10月に変更。  
担当授業科目は全て令和3年10月以降の開講科目であることから、教育活動に問題はない。
- ・吉岡講師の就任が滞在先である米国での研究活動継続のため、令和3年4月から令和4年4月に変更。  
担当予定科目の内、令和3年度開講科目である「薬理学Ⅰ」は、稲垣教授に変更（令和2年9月AC教員審査済）。  
その他の担当科目については令和4年度以降の開講科目であることから教育活動に問題はない。

**【令和4年度】**

- ・令和4年4月吉岡講師就任。

**【令和5年度】**

特になし。

**【令和6年度】**

特になし。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	28
名	14
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
16	10	5	3	34	3	16	10	5	3	34	3
(15)	(10)	(3)	(3)	(31)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
16	10	5	3	34	3	16	10	5	3	34	3
[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65歳 教授以外：62歳	10	10
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{34} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{10}{34} = \boxed{29.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{34} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時  (令和元年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>就任予定教員は、設置計画通りに全員の配置を行った。本年度については、当初の教育計画を履行しながら、定年規程の適切な運用に努め、完成年度以降の体制を見据えた教員組織編制の将来構想を実現できるようにしていく。(2)</p> <p>本年度、将来構想に基づき設置計画どおり助手1名の採用を行った。教授1名の赴任が半年延期となるが、担当授業科目の開講予定が就任時期以降であることから問題はない。また、講師1名の赴任が米国での研究活動継続のため1年延期となったが、担当科目については令和2年9月のAC教員審査を経て承認された代替の教授が担当するため授業計画に問題はない。今後も、将来を見据えた教員組織体制の充実に努めていく。(3)</p> <p>赴任延期となっていた教員2名が今年度に着任し、設置計画で予定していた教員組織体制が整備された。(4)</p> <p>助手1名が自己都合により退職。現在、助手1名の採用活動実施中。(5)</p> <p>採用活動していた助手1名が着任。設置計画で予定していた教員組織体制が整備された。(6)</p>	<p>准教授以下の専任教員について、完成年度以降に昇任できるよう教育・研究活動の充実をしていく。</p> <p>完成年度中に定年年齢となる教員について、新規に適任者を採用できるよう準備を進め、完成年度後の退職時に遅滞なく更新できるようにする。</p> <p>履行中</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)</p>	<p>該当なし</p>		<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)</p>	<p>該当なし</p>		<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)</p>	<p>該当なし</p>		<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)</p>	<p>該当なし</p>		<p>履行済</p>

## 7 その他全般的事項

<薬学部 薬学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
1学期の授業期間 15週 (2)  一般入学試験について受験科目を3科目として、うち「化学」「英語」を必須科目とし、「数学」「物理」「生物」から1科目を選択する。大学入学共通テスト試験について、3科目の成績（「化学」「英語」は必須）を評価する。(3)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前期の講義開始日を4月10日から4月22日以降に変更した。これにより前期の授業期間を15週から13週に変更したが、一部リモート講義を実施することで講義回数を変更せず、シラバスどおりに実施する予定。(2)  本学部志願者の多様化をはかるため、本試験形態を残しながら、本学及び本学部教育目的及び本学部アドミッション・ポリシーに照らし満足できる他の試験形態を追加する予定。(3)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 令和5年度から教授会下部組織であったFD・SD委員会を改め大学組織の一つとして FD・SDセンターを設置し、FD・SD活動に関する推進事項を審議し、実行している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SDセンターはセンター長1名(教員) 副センター長1名(教員)のほか、センター員として教員6名、事務員3名 計11名で構成しており、開設初年度の令和5年度はセンター会議を7回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等 岐阜医療科学大学 FD・SD センター規程第3条に規定する審議事項等は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業の内容及び方法の改善を図る方策に関する事項</li> <li>②学生による授業評価アンケート等の実施、結果の分析及び調査項目・方法の改善に関する事項</li> <li>③本学の教職員人材育成方針に掲げる「求める人材像」育成のための研修等の企画・実施に関する事項</li> <li>④FD・SD の啓発活動に関する事項</li> <li>⑤その他 FD・SD 活動推進に関する事項</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 令和5年度はFD・SD研修会に加え、新規採用者に対して研修用教材（動画データ）の視聴によるSD研修を口実施した。また、毎年学期末に実施している授業評価アンケートのほか、各学期の中間期アンケートを実施した。実施項目は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員FD・SD研修会（年2回）</li> <li>②研修用教材視聴による新任教職員SD研修</li> <li>③授業評価アンケート（各学期末および中間期）</li> <li>④授業評価アンケート結果に基づく各教員のリフレクション（内省）の実施</li> </ol> <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員FD・SD研修 全教職員を対象として2時間程度の研修会を年2回実施する。</li> <li>②研修用教材視聴による新任教職員SD研修 令和5年度新採用者を対象として期間内に研修用教材を配信し視聴する。</li> <li>③授業評価アンケート ・期末アンケート 前期・後期の2回、ポータルサイトを通じて実施する。 ・中間アンケート 前期・後期の8または9回目講義終了後、Formsにて実施する。</li> <li>④授業評価アンケート結果に基づく各教員のリフレクション（内省）の実施 事務局から各教員に対し、様式により授業状況等の説明と自己評価を依頼して提出させる。</li> </ol>
---

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- 令和5年度は、8月と12月の2回、研修会を下記のとおり実施し、ほぼ全教職員が参加した。  
参加できない教職員については、研修会を録画しオンデマンドで視聴した。  
また、令和5年度入職者(新人)に対して研修用教材視聴によるSD研修を実施し全員視聴した。□
- 【教職員FD・SD研修会】
- ・第1回 令和5年8月22日
    - テーマ「高等学校の新指導要領における探究学習と大学のかかわり方について」
    - 講師 株式会社マイナビ 未来応援事業本部部長 葛西 紘太郎 氏  
東海・北陸営業2課 小出 幸昇 氏
    - 報告 「岐阜医療科学大学における高大連携と探究学習」  
岐阜医療科学大学 高大連携センター長 篠原 範充 教授  
高大連携センター 今井 将太 大学革新推進部係長
  - ・第2回 令和5年12月26日
    - テーマ「発達障害学生支援で変わること、変わらないこー障害者差別解消法の改正を見据えてー」
    - 講師 岐阜大学 保健管理センター 准教授 堀田 亮 氏
- 【研修用教材視聴による新人SD研修】
- ・視聴期間 令和5年5月11日（木）～5月31日（水）
  - ・教材名 「キャンパスハラスメント講座」
  - ・実施形態 教材を 期間内に視聴し、視聴後の感想等（指定様式）を提出
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ① 教職員FD・SD研修会（年2回）
- 令和5年度第1回目研修では高等学校で行われている探究学習ではどんなことが実施され、今後大学としてはどのように関わって行くかをテーマとしたSD研修に重きを置いた内容で実施し、第2回目では、昨年度の研修に引き続き岐阜大学保健管理センター堀田氏を招き発達障害およびその特性のある学生への対応について障害者差別解消法の改正ともなう留意点を含めてさらに理解を深め教育活動に役立てた。今年度も教職員にとって有意義なテーマを選定し、教育改善に活用していく。□
- ② 授業評価アンケート及びそれに基づく各教員のリフレクション（内省）の実施
- 「授業方法の工夫」「学生への配慮」「学生授業アンケートの対応」の観点から、授業評価アンケートを実施し、その結果を参考にしながら各教員が自己評価して授業改善点を明確にして、改善に努めている。
- さらに所属長も交え、結果を有効活用するよう評価の低い教員に対して授業改善計画書を提出させ課題解決のための取組を促進させている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 令和5年度実施日
- ・前期授業対象（中間）のアンケート入力期間：令和5年5月～6月
  - ・前期授業対象（期末）のアンケート入力期間：令和5年7月
  - ・後期授業対象（中間）のアンケート入力期間：令和5年11月
  - ・後期授業対象（期末）のアンケート入力期間：令和5年12月～令和6年2月
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- 教員への公開
- ・担当科目についてポータルサイトにより常時公開している。
- 学生への公開
- ・公開期間を決めポータルサイトにおいて公開している。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本薬学部は、超高齢社会や地域保健医療に貢献し、臨床現場で主体的に活躍できる、高い倫理観と専門性並びに国際感覚を持つ薬剤師を育成することを教育目的として、ディプロマ・ポリシーを設定した。これを実現するため、カリキュラム・ポリシーを設定し、これに基づき、薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として、本学が保健科学部（臨床検査学科、放射線技術学科）並びに看護学部看護学科を有している特徴を活かし、他学科との充実した地域・チーム医療教育を展開する教育内容としている。更に、科目相互の複合的理解を深める一環した教育体系、高い倫理観及び豊かな人間性を涵養し、自主性やコミュニケーション能力を育む教育体系、国際性を養う教育体系、充実した卒業研究体制を組み込んだ教育内容とし、設置計画通りの教育活動を進めている。また、本薬学部の教育目的及びディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを実現するため、薬学教育における専門分野を考慮して、各教育・研究分野に1～3名の教員を配置、臨床薬学分野については7名の実務家教員を配置した。この内、令和3年4月就任予定の教授が一人上の都合により令和3年10月の就任、講師が米国での研究継続を理由に令和4年4月の就任となったが、他の教員は、計画通り就任して教育活動を行った。なお、就任が延期となった教員の担当科目の内、令和3年度開講の1科目については、令和2年9月のAC教員審査で承認を受けた教員（教授）が担当した。その他の科目は全て就任時期以降の開講科目であることから、教育活動の上で全く問題はない。実務実習体制についても、計画通り臨床薬学教育センターを設置・運営して、実習運営や教育強化を担っている。更に、全学的な実習調整が行えるよう、「臨地（臨床）実習委員会」を平成30年度より設置し各学科教員及び事務職員から委員を選任し活動して、令和2年4月より本薬学部の教員もこれに加わっていたが、当該委員会が令和5年3月31日で廃止となった。薬学部の実務実習に関しては新たに「薬学部実務実習委員会」を令和5年4月1日に設置し、定期的に開催し活動している。

施設・設備面についても、設置計画通りに整備して運用している。

このように全て問題なく教員配置、教育計画、施設設備計画等を遂行して、設置の趣旨・目的については十分に達成している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度報告書：公表済
- ・令和元年度報告書：公表済
- ・令和元年度外部評価報告書：公表済
- ・令和2年度報告書：公表済
- ・令和3年度報告書：公表済
- ・令和4年度報告書：公表済
- ・令和5年度報告書：令和6年10月公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和6年10月予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・平成30年10月に評価機関（財）日本高等教育評価機構の評価を受審し適合の判定を受けた。
- ・次回は令和7年度に受審の予定である。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 岐阜医療科学大学 FD・SD センター規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、岐阜医療科学大学(以下本学という。)組織運営規程第8条第4項に規定する本学FD・SDセンター(以下「FD・SDセンター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (FD・SDセンターの目的)

第2条 FD・SDセンターは、ファカルティ・ディベロップメント(本学における教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。)及びスタッフ・ディベロップメント(本学における教育・研究活動へのサービスの質的向上と大学運営の活性化を図るために組織的に取り組む活動をいう。以下「SD」という。)の推進を目的とする。

### (立案、審議及び運営)

第3条 FD・SDセンターは、次の各号に掲げる事項を立案・審議し、かつ業務を運営する。

- 一 授業の内容及び方法の改善を図る方策に関する事項
- 二 学生による授業評価アンケート等の実施、結果の分析及び調査項目・方法の改善に関する事項
- 三 本学の教職員人材育成方針に掲げる「求める人材像」育成のための研修等の企画・実施に関する事項
- 四 FD・SDの啓発活動に関する事項
- 五 その他FD・SD活動推進に関する事項

2 前項に定める審議の結果、重要事項であると判断するものについては、教授会に諮るものとする。

### (組織)

第4条 FD・SDセンターは、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- |          |     |
|----------|-----|
| 一 センター長  | 1名  |
| 二 副センター長 | 1名  |
| 三 教員     | 若干名 |
| 四 事務職員   | 若干名 |

### (選任)

第5条 FD・SDセンター長、副センター長及びセンター員は、教授会の議を経て学長が任命する。

### (任期)

第6条 FD・SDセンター長、副センター長及びセンター委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 センター委員に欠員が生じたときは、補充し、その任期は、前任者の残任期間とする。

### (FD・SDセンター会議)

第7条 FD・SDセンターの目的を達成するため、FD・SDセンター会議(以下「会議」という。)を置く。

- 2 センター長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 会議は、センター委員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 4 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は、センター長の決するところによる。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、FD・SDセンターの審議に基づき教授会の議を経て学長が決定する。

附 則

1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。